

# 第1回美祢市総合計画審議会 都市計画部会 議事録

日時：令和元年6月19日（水）18：30～20：00

会場：美祢市民会館 第3会議室

	委員区分	団体名	氏名	出欠
1		山口県宇部県民局	磯村 昭二	
2	副部会長	美祢市議会	戎屋 昭彦	
3		山口県議会	森中 克彦	欠席
4		山口銀行	稗田 裕司	欠席
5		美祢市男女共同参画審議会	小林 法子	
6		公募	井上 敏雄	
7		美祢市内郵便局	加藤 美智子	
8	部会長	美祢青年会議所	内海 満夫	欠席
9		山口新聞	平岩 和也	
10		公募	西田 早紀子	

## <資料>

次第、委員名簿

第二次美祢市総合計画「基本計画」素案

第二次美祢市総合計画「総合戦略」素案

基本計画施策体系表

総合戦略施策体系表

## 1 開会

欠席の連絡

～資料の確認～

## 2 副部会長あいさつ

～戎屋副部会長ごあいさつ～

こんばんは。部会長が所用によりお休みなので私が進行させていただきます。この部会は3つの部会の中でも特に重要だと思っています。皆様から忌憚のない意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

### 3 議事

#### (1) 第二次美祢市総合計画基本計画の関係部門(案)について

副部会長：事務局より説明がありました。質問はありますか。

委員：1ページの主な取組の防災拠点の整備・充実について、防災拠点がどういったセンターになるのか具体的な言葉がほしい。今までないものなのでもう一言ほしい。

事務局：所管課と話して検討したい。

委員：消防・防災の推進について、消防はわかりやすいが、防災については計画を立てるのも難しい。周知するとしても例えば昨日も地震があったが、美祢市は防災ベルなどもあるが高齢者には行き渡っていない。J-ALERT とがあるが鳴ったとしても避難に時間がかかる方も美祢市は多い。そういった方に対応する書き方がないのでは。あまり細かいことは書かないと言われていたが、防災に関しては学校では防災教育があるが、高齢者は防災教育を受ける機会が少ない。いざというときに一番逃げにくいのはそういった方々だと思う。もう少しそういった方々への一言がほしい。

事務局：災害対応力の充実・強化というのがあるが、地域の方々と連携して協力体制をつくっていく必要がある。

委員：最終的にはご近所で声をかけあってと地域が主体になると思うが。

事務局：あとは講座とかに参加していただくことも考えられる。

委員：美祢市は地震は少ないが、水害はある。まずは各地域で避難場所の確認などが一番初めにすることかもしれないが、防災訓練もなかなか参加されない。消防はほっといても進めていると思うが、防災は進めていかないと難しい。

委員：郵便局長は防災士の資格をもっている。協力することはできる。その地域の防災という面では協力できると思う。

事務局：その辺りの連携というのを入れていきたい。

副部会長：防災は弱いというのがでたが、議会でも予算の中で美祢市の防災の予算がどのような形がよいかということで、防災の連絡網の話が出ている。告知として有線や無線など予算を取ってどれが一番よいかを市で検討している。その辺りも載せてもよいのでは。各地域でも意識の高揚はしていかないといけない。行政と合わせて行っていないといけないと思う。

委員・防災のところで訓練はあるが、講座などもあるとよい。

事務局：出前講座ともあるが市民からの声があれば行っている。

委員：市民となっているので行政が主体としてもよいかもしれない。

委員：ここでは消防と防災がテーマである。現状と課題について内容が防災になったり、消防になったり、入り乱れている。火災報知機も重要だが、主な取組については記載がない。主な取組で治山治水はあるが、目標指標のところに記載がない。砂防など目標に掲げてもよいのでは。現状と課題、主な取組、目標指標についても流れを汲んで記載があるとよい。

委員：消防にしても防災にしても発生したときに地域における女性の役割も非常に大きいと思う。今、女性消防団員も少しいるが、もっと充実させていく必要があると思う。

委員：現状と課題にある住宅用火災警報器については目標指標を入れなくてよいのか。

事務局：まだ所管課と刷り合わせができていない。ご意見を承って検討していきたい。

副部長：3ページの交通安全・防災対策の推進について、最近高齢者の事故が多い。運転免許証の自主返納について都会と違い、美祢市は田舎で車でないと移動ができない。返納しての対策が必要。昼はコミュニティバスがあるが、乗車が少ない。返納を促進するなら何か考えないと足がない状況になってしまう。また、現状と課題について社会福祉協議会と連携して防犯灯の設置とある。今現在も事件、事故が発生している。防犯カメラをつけるなど駅前での不審者情報も出ているので、メインの場所をつける必要があるのではと思う。

委員：運転免許証の自主返納について返納は簡単だが後が大変。生活ができなくなる人もいる。

副部長：その辺りもしっかり考えていかないといけない。この近辺なら買い物もできるが離れたところだと難しい。

委員：そういったところを充実させることが美祢市総合計画の特徴的なところになる。

委員：返した人に対する優遇措置なども充実していく必要がある。例えば飲食店の割引など。

委員：そこまで詳しいことは書けるのか。

事務局：飲食店はなかなか書けないかもしれないが、何らかの支援という記載になると思う。

委員：空屋対策がここかなと思ったが、住環境整備などに書かれているかもしれないが、防犯についても少し関わるかと思う。

事務局：住環境の整備と定住促進のほうがメインとなる。

委員：危険箇所についても考えていかないといけない。

事務局：そこは検討する。環境衛生の推進にある、公衆衛生施設の適正管理について、昔の水などが悪い状況の中での表現であったため、公衆と言う言葉を取り、衛生施設の維持管理といった表現にさせていただきたい。

副部長：続いて基本方針3安全なネットワークによる都市基盤づくりについて説明をお願いします。

事務局：資料の説明

副部長：委員の皆様から意見をうかがいたいと思う。

委員：公共交通の充実について、美祢市においては一番問題となっている。主な取組の2で地域公共交通の活性化と再生はJRしか書いていない。公共バスについても入れないと偏っていると思う。バスがどんどん減っている。見直しはアンモナイト号ではなく、防長バスなど民間路線を変更していくということか。

事務局：民間のバス会社は難しいと思うのでアンモナイト号だと思う。

委員：注意書きをしないといけない。民間バスはかなりシビアだと思う。

副部長：土日はバスが走りタクシーがないなどもある。観光施策を目指すならアクセスのしやすさなどを考える必要がある。秋芳洞についてもそこから弁天池が近いと思われるが、意外と遠く、タクシーで行くと2,000円くらいとお金もかかる。観光客のことを考えるのであれば、色々な公共交通について、直通で行けるものがあるなど、考えていく必要がある。萩は山口までの直通のバスが出ている。そういうものがあると新山口から人が来ると思う。

事務局：乗り継ぎも含めて協議している。そこを改善しようとして取り組んでいる。バス路線のことも含めて検討したい。

委員：地域内交通という言葉が出ている。昔でいう白タク、福祉タクシーなどがあるが、この

辺りの用語を整理しないといけない。オンデマンドバス、地域タクシーなどもある。公共交通、地域内交通の整理をしたほうがよい。

委員：確認だが、地域運営組織を設立し、地域内交通を運行するとある。今赤郷でやっていることをイメージされているのか。

事務局：そのようなイメージである。

委員：設立を促すということによいのか。

事務局：設立を促すということで地域内交通を補っていただくということである。

委員：施策3の上・下水道について。主な取組の3に岩永地区の整備について書いてある。ほかは書いていない。決まっているから書いているのか。ほかにも足りていない地区もある。岩永地区は喜ぶかもしれないが、書き方も考えたほうがよい。

委員：上・下水道で分けないといけない。現状と課題では上水道のことがはじめに書いてあるが、取組の方向は下水道が上にあり、下が上水道となっている。上・下水道は分けられたほうがよいと思う。

事務局：現状と課題は一緒の書き方で、取組は下水道しかうたっていない。そのあたりを整理し、上・下水道について主な取組でわかるかも検討する。

委員：新しく水道法が変わり、民営化により水道代が安くできるようなこともあるので、その辺りも検討してほしい。

事務局：精査する。

副会長：基本目標5について説明をお願いします。

事務局：資料説明

副会長：何かご意見はあるか。

委員：14ページのケーブルテレビ運営の格差解消、音声告知放送の統一について、統一しないと困ることはあるのか。

事務局：防災関係のことになる。

副会長：今の美祢市のものでは、美東・秋芳にはつながらない。

事務局：合併前は山口ケーブルビジョンと市で行っている。それらを統一することが課題となっている。

副会長：それについては、現在調査しているところである。

委員：課題にあげるとすると課題に対する取組がない。

事務局：大きく言えば4になる。略しすぎているところもある。

委員：基本的にわかりにくく書いてある。横文字を使うのであれば注釈を入れるなどをする。少し読みにくい。課題を入れるなら取組を必ず入れないと課題がほったらかしになっている。全部確認しないといけない。

副会長：SWOT分析でも出た。こういった対策を考えているなど。

委員：市民・民間との協働について、現状ではマイナンバーがあげられるが、具体的にどうするかが入っていない。山陽小野田市の計画ではワンストップサービスについて、郵便局のことが書いてあった。

委員：美祢市内では大嶺でも住民票の交付などは実施している。マイナンバーはコンビニなど全国で実施されている。

委員：入れられてもいいのでは。

委員：17 ページの市職員の能力の向上について、これまでは市民が対象でここでは市職員について書かれている。この内容は計画にいいのか。これは当たり前のことでは。これは別の職員への対応だと思うが、これをここに書くのはどうかなと思う。

副部長：評価をしますなどは市の内部のこと。

委員：これを書くと職員はやってこなかったのかと思う。

副部長：市職員と市民とがこうやっていくなど。様々な対応について考えてくれるということでは。

委員：12 ページの第3セクターの経営改善と県央連携については、課題にないと思う。県央の取組の中身についてはちょっとわかりにくい。

事務局：県央連携については突如でてきている。

委員：もっとわかりやすくするなど。現状と課題をわけて番号をふるとどれがどれかわかる。そうすると他の部会の内容も行うことになるが。

事務局：行うとなると全部やることになる。

副部長：せっかくなら市民にわかりやすくしたほうがよい。

## (2) 第二次美祢市総合計画総合戦略の関係部門(案)について

事務局：資料説明

副部長：意見はあるか。

委員：防犯・防災対策の充実について内容について防災のことしか書いてないのでは。

事務局：防犯が漏れているので入れていく。

副部長：安全・安心な環境の提供について、医療・福祉の充実と地域内における支え合いの仕組みの構築とあるが、地域包括ケアを進めるということも含めてということか。

事務局：広い意味ではそう捉えられる。

委員：それは4-1-2になるのか。

事務局：4-1-2となり、ひと・暮らし部会で諮っている。

副部長：戦略方針2都市拠点・地域拠点の整備について説明をお願いします。

事務局：資料説明

副部長：ご意見はありますか。

委員：さっきも公共交通の話が出たがバスのことか。4-2-3の観光振興のために公共交通を使ってほしい。普通ならJRの新山口からだとバスやレンタカーで来る。観光振興と連動した公共交通機関の利用促進の内容ではJR美祢線だけ書いてある。美祢線はまず使わない。レンタカーが一番多い。美祢線だと秋芳洞まで来てほかにいけない。やはりバスに乗ることになる。バスのことを書かないと的外れだと感じる。バスを付け足さないと。

副部長：私もそう思う。新山口駅では色々なチラシを置いてPRしている。結果的にここに来ようとなるとどこから行ったら一番よいか。美祢から行くなら美祢線かもしれないが。

委員：湯田温泉からならバスになるが。全部がそれではない。

事務局：4-2-3については全面的に見直す。

委員：4-2-1の都市拠点と地域拠点について、地域拠点については都市機能の集約化だが、都市拠点は何を示しているのか。必要な部分だとは思いますが。

事務局：都市拠点とは市役所周辺で地域は、総合支所、公民館の拠点だと思う。言葉が足りないのでもう少し検討したい。

副部会長：戦略方針2について、車がなくても生活できるよう、地域公共交通網機能を進めるなど、各拠点を結ぶネットワークを充実させますと言い切っている。市と行政として、できる方向で考える必要がある。集約型都市構造を目指しますとなっているが、コンパクトシティを指しているのか。

事務局：そうだと思う。

副部会長：ここはいいが、農業をやっている人が住むならここで仕事は各地区でとなると大変だと思う。コンパクト化するなら考えていかないと、議会でもかなり大きな問題だと思う。させますと言い切っている。どれだけの充実になるのか。都市拠点は美祢市で地域拠点は秋芳・美東ということでは。

事務局：もう一度持ち帰り精査したい。

副部会長：KPIについて令和にしないといけないのでは。

事務局：目標についてはきちんと精査する。

委員：4-2-1市内高校に入学する生徒の割合はここになるのか。これだけ内容が違う気がする。

事務局：市内の高校に通うバス路線について、高校生が利用するのでそのことを踏まえての内容だと思う。

委員：バスの利便性だけで高校は選ばない。これが100%になって都市拠点ができたのかといえるのか。

事務局：選ばれる教育環境の充実などに移動させる。

副部会長：重点戦略5について説明をお願いします。

事務局：資料の説明

委員：凄くわからない。ここの項目だけ難易度が高い。言いたいことは持続可能なまちづくり。具体策が高度であり、具体策を進めることができるのかと思う。

事務局：私もわかりづらいなと思った。

委員：Society5.0についてもキャッシュレス決済がどのようにつながるのか。5-1-2の環境はわかるが、砕いてわかりやすく書かないと高齢者の方はわからない。基本は中高生がわかるレベルがよい。略語やカタカナも使うのはわかるが行政は特に多い。

委員：5-1-2の温暖化対策について実行計画について作らないといけないのか。気候変動など大きな問題もある。市民の皆様が見てわかるような表現でないと絵に書いた餅になってしまう。

委員：実践できそうなものでないと。

委員：おそらくこれらの項目については、まち・ひと・しごとで新たに入れるようになっている。

委員：SDGsについて市民にもわかりやすい表現でないと。

委員：SDGsは何が根拠になるのか。気候変動は温対法があるが、理屈づけがないといけない。

副部会長：温暖化対策の実行計画を策定してとあるが、世界中の問題であったが、民主党時代にCO<sub>2</sub>を20%削減といわれて、大変な問題であった。こういったものは美祢の環境にあったもので創られないと。美祢市は大型トラックの輸送量が高い、その辺りの問題については企業の問題でもある。市民が扱う問題と企業の問題があり、策定となるとどのような形で策定するのか気になる。そのほか、全体として言い足りないことがあればご意見をいただきたい。

委員：前回も聞いたかもしれないが、序論・基本構想・基本計画がある。基本計画は総合戦略の上になるのか。

事務局：基本計画の中で特出ししたものが総合戦略である。

委員：基本計画の中にあるというイメージか。この持続可能なまちづくりも入っているのかもしれないが、わかりづらい。

副部会長：計画のどの部分にあたるかを明確にしたほうがよい。内容を精査し、次の会で示していただけたらと思う。

#### 4 閉会